

社会福祉法人いずみ いずみ反町保育園

福祉サービス第三者評価結果報告書



報告日 平成24年3月29日

福祉サービス第三者評価機関
株式会社 commons 21 研究所

福祉サービス第三者評価結果報告書

目 次

1. かながわ福祉サービス第三者評価推進機構	
福祉サービス第三者評価結果報告書	1
2. 福祉サービス第三者評価結果報告書	
① 評価結果総括表	8
② 分類毎の評価結果	11
③ 利用者家族アンケート結果の特徴	30
④ 利用者家族アンケートの調査結果	31
⑤ 利用者本人調査結果の特徴	35
⑥ 事業者からの意見	37
3. 当社オリジナル報告書	
① 家族アンケート 各データグラフ (非公表)	38
② 家族アンケート施設への要望 (非公表)	43
③ 評価結果集計表 (非公表)	46
④ 自己評価／第三者評価 比較票 (非公表)	47～69

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	社会福祉法人いずみ いずみ反町保育園
報告書作成日	平成24年3月29日 (評価に要した期間 5か月)
評価機関	コモンズ21研究所

評価方法

自己評価方法 (実施期間: 平成23年9月16日～12月28日)	職員一人ひとりが自己評価し、結果を職員会議で話し合い、クラス単位でまとめた後、園長がとりまとめた
評価調査員による評価方法 (実施日: 平成24年2月6日、2月8日)	ヒアリング対象者…園長・主任・保育士・栄養士・看護師 施設観察… 2月6日、2月8日 書類審査等… 2月6日、2月8日
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 平成23年11月7日～11月22日)	保育園より保護者へ配布。直接調査機関へ郵送にて回収。
利用者本人調査方法 (実施日: 平成24年2月6日)	調査対象者… 本人調査 (4・5歳児…6名) 観察 (0歳児～5歳児)

評価結果についての講評

<p><園の概要・特徴></p> <p>いずみ反町保育園は東急東横線反町駅より徒歩5分、駅から商店街をぬけ、住宅街にある10階建マンションの1階部分を使用している「本園」と、すぐ近くの平屋建ての「分園」とで保育を行っています。社会福祉法人いずみが設置し、認可保育園として平成21年4月に「本園」を、平成23年4月には「分園」を開設し、産休明け～1歳児19名の「分園」と2～5歳児48名の「本園」、合わせて67名(定員66名)の子どもたちが在籍しています。「子どもが楽しく充実した1日を過ごせる保育園」「キラキラした笑顔の子どもたちが主役の保育園」を目標に、一人一人の月齢や年齢、発達に応じたきめ細かい保育が行われ、子どもたちは異年齢の友達と関わり、自由に遊びを楽しんでいます。</p> <p><特に優れている点></p> <p>1. 子どもの自信を育む様々な体験</p> <p>子どもたちは発達に応じて戸外活動を行い、室内では異年齢の友だちと関わり、自由に遊ぶ中で様々な事に興味や関心を持ち、いろいろな体験を重ねています。</p> <p>4, 5歳児クラスの子どもたちは「ねえカレーつくってよ」の絵本が大好きで、その絵本をもとに子どもたちの意見や発想を取り入れて劇遊びに発展させました。そして、子どもたちが考えたオリジナルの「カレーライスつくってよ」の劇や、日ごろからピアノに触れ親しんでいる曲の演奏や、手遊びや歌などをクリスマス発表会でみんなの前で楽しく発表し、日ごろの成果を見せ自信を身につけています。</p> <p>また、ニュージーランド人の講師と英語で挨拶をしたり、国旗のカードゲームなどを行って英語や外国の文化に触れるなど楽しみながら活動し、週1回の体操教室では跳び箱やマット、平均台、ドッチボール、縄跳びなどの活動を通して敏捷性や柔軟性を高めています。これらの体験を活かして発表会で英語のうたを披露したり、</p>
--

運動会では、友達と協力してリズム感のあるパラバルーン体操をみんなの前で発表し、子どもたちはできた時の自信や達成感を味わっています。

2. 食に関する取り組み

I～IV期に分けた0,1歳児クラスと2～5歳児クラスの年間食育計画を作成し、食育に取り組んでいます。乳児は年間目標のもとに、楽しい雰囲気の中で自分からスプーンを持って食べたり、「人参さんは手で食べていいよ」と職員から声をかけられ、つかんで食べたりしています。職員は側で見守りながら、成長に合わせた適切な言葉かけや援助を行い、ロールパンが食べられない子どもに三角に切った食パンを渡し「これが食べたかったのね」と一人一人丁寧に対応しています。

幼児についても年間目標を決め、そら豆や、トウモロコシの皮をむいて食べる体験や、園庭でナスやきゅうり、ミニトマト、ピーマン、枝豆を栽培し、成長や収穫を喜び、給食でみそ汁やサラダにして食べる体験をしています。

また、給食は2人の栄養士が一人一人の喫食状況を毎日観察して子どもの声を聞き、離乳食やアレルギー食などの対応をきめ細かく行っています。給食は年齢ごとにパンの切り方を変えて提供したり、幼児はメニューの中から自分の食べきれる量を彩りよく、上手に盛り付けられるようバイキング給食を体験し、子どもたちは栄養士からバランスよく食べることの大切さを学んでいます。

栄養士は保護者に向けて園で提供している「ご飯、みそ汁、具だくさん卵焼き、お浸し」の給食や、おやつの人気メニュー「さつまいものり塩スティック」や「きな粉パン」の試食会を行い、園での味付けや栄養などについて情報提供を行っています。

園の保護者や地域の子育て中の保護者には食育講座を開催して、離乳食の基本や乳児の味覚形成の過程、食の大切さなどについて説明し、参加者からの悩みや疑問に答えています。

3. 「保育へのおもい」に沿った職員の連携

法人理事長は、第1号園を設立する際、理念・方針を「保育へのおもい」としてまとめ、職員はそのおもいに沿って、本園と分園とが時間配分を工夫して様々な会議を行い、職員間の連携やコミュニケーションを密にして子どもの活動がより豊かなものとなるよう努力しています。保育士は子どもの自発性を大切にして保育室の環境構成を工夫したり、子どもたちの活動についてきめ細かい配慮や計画を実行し、専門職の看護師や2人の栄養士、英語や体操の指導員などと協力して元気で明るい子どもたちを育てています。

<改善を期待したい点>

1. 苦情対応体制の更なる整備を

苦情解決の方法として、第三者委員について保護者には配布資料で名前を知らせていますが、連絡先の記載がなく、保護者が直接相談することができません。電話番号等を明示し保護者が直接、連絡が取れるようにすることが望まれます。

また、苦情・要望は記録を残し、傾向を知り運営に活かすために、整理して蓄積、検討することが望まれます。

2. 人材育成制度の構築

職員は年間行事やクラス運営の役割など分担しながら業務を行っていますが、職員の経験、能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化するまでには至っていません。期待水準として明文化するとともに、人材

育成計画を作成し、個々の職員・主任に期待される役割、人材育成の方法、昇任、昇給のしくみなど明確にして園の理念や方針に沿った人材の育成制度を構築することが期待されます

3. 保育所としての自己評価を

職員一人一人が「人事評価管理表」で業務について振り返りを行っていますが、保育所としての自己評価を計画的に行うまでには至っていません。今後、職員一人一人の自己評価を踏まえ、園としての自己評価を実施していくことが期待されます。

評価機関による評価



3つ:高い水準にある、2つ:一定の水準にある、1つ:改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

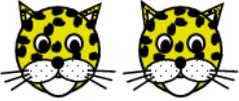
評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<p>利用者である本人を尊重した保育理念「子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す」、保育方針「豊かな人間性を持った子どもを育成する」が定められています。職員には入職時に研修で理念・方針の理解を図り、また職員会議で確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが制作や活動にきちんと取り組んだり、生活日課の準備が整うまで待ってあげたり、声をかけたり、手を添えたりする様子から、また、懇談会やイベント後の「子どもの成長が感じられる」「安心して預けられる」という保護者の声からも理念や方針が保育内容に反映され、実践されていることが伺われます。 保育課程には理念・方針・園目標を明記し、子どもの健全な発達のための養護と教育のねらいを定め、各年齢に応じた生活や活動の内容を示しています。毎年見直しを行い、本年度は、保護者と地域の子育て支援として育児講座の開催、近隣清掃を加えています。 指導計画は0、1歳児は各クラスで素案を作り主任・園長に提出し、助言や指導を受けています。その後乳児会議に提案し決定しています。2、3、4、5歳児は各クラスで大まかな指導計画を立て、2、3歳児の保育士間、4、5歳児の保育士間で話し合い素案を作り、主任・園長の確認後、幼児会議で決定します。全職員が、決定した指導計画を閲覧し、保護者へは園だよりで知らせています。 保育士は、子どもに対して言葉の説明だけではなく絵を描いたり、身振り手振りを加えて内容を伝え納得できることを大切にしています。折り紙では、保育士は一人一人の反応や進み具合に応じて個別に援助し、子ども達みんなが、一緒に完成できるようにしています。 指導計画は、子どもの意見・要望にあわせ、柔軟に変更しています。週案では劇練習を予定していましたが、お天気が良く子どもが外で遊びたいとの要望があり、戸外遊びに変更したことが日案に記述されています。週案には、最初の予定を変更した際には赤ペンで変更内容を記述しています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で、全保護者を対象とする面談を行っています。入所決定の時点で園から郵送され、保護者が記入して持参した児童票、健康台帳・生活調査票等の資料を基に、園長・主任・担任がそれぞれの保護者と面談し、園生活への要望や質問、子どもの状況や配慮すべき点などを聞いています。 ・入園前の生育歴や家庭の状況は児童票や健康台帳等、また面談時のやり取りで把握しています。家庭での子どもの生活リズムや食事の時間・形態、睡眠や排便の時間など、面接時の記録は入園後すぐに日々の保育で活用されています。 ・入園説明会で慣らし保育について説明しています。基本的には保護者の就労に合わせて少しずつ保育時間をのばしていくように行っていますが、設定時間や期間、実施しないケースなど柔軟に対応しています。最近の傾向としては、十分な時間をかけて慣らし保育をするケースが多くなっていますが、保護者の就労状況によっては短いケースもあります。また、子どもに不安感が強く泣き続ける場合など、保護者と相談し協力してもらっています。 ・0、1歳の新入園児には主担当保育士が決まっています。声かけ、授乳、寝かしつけ、記録などを主に行い、信頼関係を築けるように配慮しています。タオルやおもちゃなど子どもの拠り所とするものは、安定して保育園生活ができるようになるまで、持ち込みができます。園生活に慣れて気になくなったら、カバンの中にしてもらおうようにしています。 ・連絡ノートは全園児使用しています。0歳児はタイムテーブル付きで24時間の子どもの生活時間が記録できるものを用い、家庭と園との生活の連続性に配慮しています。1～5歳児までは家庭での様子・園であったその日の子どものエピソードなどを記入し、1日の状況が把握できるようにしています。 ・指導計画については、週案の4週分と月案を一緒に立て、月の終わりにクラスで反省・評価し、次月の週案と月案に反映しています。毎年度3月の指導計画を1年の振り返りにしており、年間指導計画には、振り返り欄は設けていません。年間指導計画は新年度の最初に立案し、乳児会議・幼児会議で検討し、承認されています。 ・入園式の後に子どもへ絵本やおもちゃを提供しながら反応は見えますが、その記録は取られておらず、意図的な子どもへの観察が行われていません。保護者と子どもの関わりの様子を観察し、親子関係の把握や子ども本人への観察を通して保育上の多くの情報を得ることが期待されます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="180 277 534 309">I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 277 1423 432">・園内の清掃については、職員が分担して行っています。保育室は各クラス職員が、共用部分やトイレは職員が順番で、1日1回行っており、トイレの清掃チェック表があり、清潔に保たれています。0.1歳児のおもちゃは午睡の時間に毎日拭いています。2～5歳児のおもちゃは1週に1回拭き、布の物は洗い、清潔に管理しています。 <li data-bbox="667 465 1423 584">・温度・湿度は「夏季の適温を19～24℃、冬季の適温を17～22℃」と規定しており、「床面と大人の高さ、天井では気温の差が大きい、常に子どもの高さで計測する」と基本をマニュアルにまとめ、適切に行われるよう管理しています。 <li data-bbox="667 618 1423 801">・加湿付き空気清浄機やエアコン、必要に応じて湿度を保つため濡れタオルを利用し管理しています。換気については朝と午睡後の1日2回窓を開けています。採光は十分で、遮光にはロールブラインドを活用しています。また、臭気に関しても消臭スプレーの使用や掃除を頻繁に行い、不快な匂いはありません。紫外線対策としてはプール遊びの時には、遮光ネットを張っています。 <li data-bbox="667 835 1423 898">・保育者の声や音については毎日のミーティングで気づいたことを互いに振り返り、騒音にならないよう気をつけています。 <li data-bbox="667 931 1423 1050">・沐浴設備は温水シャワー付きで本園と分園のそれぞれにあります。汗や下痢、おむつかぶれ予防などの際に使用しています。使用後は消毒薬を使い、毎回清潔にしています。沐浴設備の清掃担当者を決め週に1回清掃を行い、清潔に維持しています。 <li data-bbox="667 1084 1423 1238">・おもちゃラックやコーナーなどの仕切りを利用して0、1歳児は必要に応じて小集団で落ち着いて遊べるコーナー作りをしています。2～5才児クラスの朝夕の自由遊び時間では、マットやベンチ、机等を使い、ブロックコーナー、ままごとコーナー、おりがみコーナー等小集団で好きな遊びができるよう環境設定を行っています。 <li data-bbox="667 1272 1423 1391">・分園の0.1歳児室は食事の空間と寝る空間を別にして保育しています。本園の2.3.4.5歳児は部屋の物理的な環境から同じ場所を使っていますが、食事の後は保育を工夫し子どもの動きを整え、午睡の環境設定をしています。 <li data-bbox="667 1424 1423 1565">・本園の2.3.4.5歳児は、ワンフロアでの保育が行われていることもあり、日常的に異年齢で交流する機会を多く持っています。また毎週木曜日の体操の時間は、分園で行われるため、0.1歳児と2.3.4.5歳児との交流が行われています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 264 655 331">I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 264 1418 392">・0,1歳児については個別指導計画に「ねらい」と「保育の関わり方」の計画を立て、そのもとに保育を実践し、子どもの様子がどうであったか、どのような変化や成長、意欲が見られたかを「子どもの様子・発達」に記録しており、指導計画と経過記録を一体化して作成しています。 <li data-bbox="667 421 1418 481">・幼児については現在特別に配慮を要する子どもの在籍はなく、個別計画は作成していませんが、いつでも対応することができます。 <li data-bbox="667 510 1418 638">・個別指導計画は毎月1回振り返りを行い、それを反映させて次月の計画及び週案を立案しています。トイレトレーニングでは、成功回数が増えたことを確認し、送迎時に保護者に相談し同意を得て計画を変更するなど必要に応じて、計画を見直しています。 <li data-bbox="667 667 1418 728">・卒園する子どもの保育所児童保育要録は小学校に届けています。郵送で受領証が送られてきます。 <li data-bbox="667 757 1418 952">・子どもや家庭の状況は、家族構成、生育歴、保護者の連絡先、かかりつけの病院などが記録されている「児童票」、予防接種や病気の記録、アレルギーの有無、入園してからの身体測定結果などが記録されている「健康台帳」、授乳、離乳食、食事についての調査票、日常生活状況を記した「生活調査票」、入所後の発達・成長状況を記録した「経過記録」など、決められた一定の書式に記録しています。 <li data-bbox="667 981 1418 1064">・入園後の記録としては、0,1歳児は、指導計画書に発達記録も一体化し月ごとに記録しています。2～5歳児については、個別に期ごとにまとめた経過記録を書いています。 <li data-bbox="667 1093 1418 1153">・子どもに関する記録は事務室の鍵付き書庫に保管され、保育に関わる全職員が見ることができ、共有されています。 <li data-bbox="667 1182 1418 1288">・年度の引き継ぎは、年度末記録として、健康状態、学習、お支度、性格など子どもの状況を具体的に記述し、旧担当職員から新担当職員へ説明と共に渡されています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 277 644 342">I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 277 1409 398">•開園して以来一人も障害児は入園していませんが、園内のトイレは車椅子対応で、オストメイト対応設備を持ち、床面はバリアフリーになっています。職員は障害児に関する研修を受けており、障害児入園に対する準備をしています。 <li data-bbox="667 434 1409 495">•開園以来障害児の在籍はなく、迎えた時には子ども同志の関わりを大切にしたい保育を行うことを、障害児の研修や園内研修で学習しています。 <li data-bbox="667 530 1409 645">•区や市で行われる障害児に関する研修に参加し、終了後は報告書を作成しています。職員会議に研修報告会として時間を設定し、研修で得た要配慮児を含む障害に関わる最新情報を職員へ伝え、周知を図っています。 <li data-bbox="667 680 1409 795">•保護者のお迎えの際に、子どもがなかなか帰りがらなかつたり、準備などが遅い時に保護者がいらしている様子や声をあげている場合など、職員から何気なく声をかけたり、話しかけるなど虐待の予防に配慮しています。 <li data-bbox="667 831 1409 945">•園児たちはニュージーランド人の指導者から英語の指導を受け、言語や文化を楽しみながら学んでいます。いろいろな国のあいさつを学んだり、国旗のカードゲームから他国を知ることになり、運動会には各国の国旗を作り飾り付けもしました。 <li data-bbox="667 981 1409 1095">•現在在籍している子どもの外国籍などの保護者に対するコミュニケーション方法は、実物を見せ手振り身振りで説明し連絡帳はひらがなのみで対応しています。また、英語に堪能な職員も在籍しており、状況により英語で説明しています。 <li data-bbox="667 1131 1409 1245">•アレルギー児については、乳児会議や給食会議で、食器を変える、名前が分かるようにラップに付ける、離乳食の進め方などについて話し合い、危険がないように対応しています。 <li data-bbox="667 1258 1409 1440">•保護者には事前に献立表を渡し、アレルギーに関わる食材をチェックしてもらい栄養士、園長、主任、担任で相談し、保護者の意向に沿う形で除去食や代替食の提供を行っています。卵やゴマアレルギーの子どもに対して、チャーハンの卵はコーンを使ったり、胡麻和えのお浸しではゴマを除去した別の味付けにするなど、調理を工夫し見た目や味付けに配慮した提供をしています。 <li data-bbox="667 1476 1409 1590">•食物アレルギーに対する子どもへの対応策は、栄養士から職員へ周知を図っていますが、ぜんそくや花粉アレルギーなどのアレルギー疾患に関わる知識についての学習はしていません。今後は、アレルギー疾患に関わる研修を実施し、知識や情報の共有を図ることが望まれます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="180 280 427 309">I-6 苦情解決体制</p> <div data-bbox="252 387 491 488" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="683 280 1423 432">・自分から意向を表明することのできない子どもに対しては、表情や身振りなどから本人の気持ちを汲み取っています。おもちゃの取り合いの時には何分たったら交代ね、と話し気持ちを受けとめます。お迎えの受け渡しの時などには、日ごろ話しをしたがらない保護者に対して積極的に声をかけるようにしています。 <li data-bbox="683 465 1423 589">・保護者に配布した「要望・苦情について」のお知らせには、県の社会福祉協議会にある運営適正化委員会の連絡先を記し、申し出ができることを伝えています。園単独で困難な場合には区こども家庭支援課など外部の機関との日常的な連携があり、相談できる体制があります。 <li data-bbox="683 622 1423 678">・苦情や要望については、職員会議やミーティング、乳児・幼児会議などで職員に報告し、情報の共有が図られています。 <li data-bbox="683 712 1423 869">・意見箱が本園及び分園に設置されています。懇談会では出席者に一言づつ話してもらおうようにしており、「お昼寝をさせないでください」「写真販売をしてください」等の要望もあります。さらにアンケートの実施などいろいろなツールを使用し、園への要望や意見を出しやすくする取り組みをされると良いでしょう。 <li data-bbox="683 902 1423 1081">・第三者委員を交えた苦情解決体制を規定したマニュアルがあります。園長と第三者委員とは交流の機会は持たれていませんが、法人理事長が交流しています。理事長と共に園長も交えて第三者委員と直接交流することにより、園の状況を報告し、また、第三者委員から地域情報や他園での苦情に関わる事例を直接得る機会になります。交流が一層深まり実感の湧く仕組みになることが期待されます。 <li data-bbox="683 1115 1423 1205">・第三者委員については配布資料で保護者に名前を知らせていますが、連絡先については園に問い合わせる仕組みになっています。電話番号等を明示し保護者が直接連絡が取れるようにすることが望まれます。 <li data-bbox="683 1238 1423 1305">・過去の要望や苦情は特に記録されていません。傾向を知り、運営に活かすために、要望や苦情は整理して蓄積、検討することが望まれます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 320 427 349">Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 320 1420 506">•0,1 歳児クラス(分園)は低い棚にぬいぐるみや大きいブロック、自動車、ボール、積木、おもまごとと道具と音の出るおもちゃの太鼓やマラカスなどを種類ごとに、写真付きのカゴに収納し、子どもが取り出して遊べるようになっています。2 歳児クラス(本園)は色鉛筆やクレヨンなどの教材を、3~5 歳児クラスは色鉛筆やクレヨン、自由画帳、文字ワーク、粘土、ピアニカなどを、低い棚に置き自由に取り出せるようになっています。 <li data-bbox="667 539 1420 658">•子どもたちは公園で落ち葉を拾って遊び、葉っぱに穴をあけて繋げ、ネックレスを作り始めました。ほかの子どもたちにその遊びが伝わり、クラス全員の活動となり、首にかけ、写真を撮った事例など、子どもの自由な発想を集団活動に取り入れています。 <li data-bbox="667 692 1420 875">•乳児は室内でプラスチックカーや滑り台付のジムで遊びながら、滑り台を順番に滑ることや、車の貸し借りを覚え、友達と関わりいろいろな体験ができるよう配慮しています。幼児は一斉活動で椅子取りゲームやリーダーあてゲームを行い、ルールを守って遊ぶ楽しさを身につけています。また、年長児と年少児がペアになって鬼ごっこやドンじゃんけんを楽しみ、ルールを守って遊び、社会性が育つようにしています。 <li data-bbox="667 909 1420 1028">•幼児はヒヤシンスの水栽培を通して、毎日、根や芽の成長を観察し、つぼみがふくらんで花の香りを楽しみ、その過程を毎週観察日記に描いています。夏は園庭でナスやきゅうり、ミニトマト、ピーマン、枝豆を栽培し、成長や収穫を喜び、給食でみそ汁やサラダにして味わっています。 <li data-bbox="667 1061 1420 1180">•子どもたちは園外保育で近隣の防災センターを訪れ、防災の映画を見たり、起震車や暗闇の体験をしています。また、同一法人経営の学童保育の部屋を訪れ、カメラやうさぎに触れたり、公園ではドングリや落ち葉ひろい、冬には氷に触れたりして自然と関わる体験をしています。 <li data-bbox="667 1214 1420 1368">•毎週行われる体操教室では年齢や発達に応じて体を動かし、走ったり跳んだり、平均台を歩いたり、マットの上で自由に表現しています。また、子どもの年齢に応じて色鉛筆やクレヨン自由画帳、ピアニカなどを低い棚に置き、マジックや折り紙などは子どもの要求に応じて提供し、子どもが気持ちを表現できるようにしています。 <li data-bbox="667 1402 1420 1496">•職員は乳児、幼児会議で子どもへの言葉がけについて話し合い、子どもの考えや言い分を尊重し、一対一の対等な関係で会話することやスキンシップを大切にすることなどに配慮し、子どもとの信頼関係を作っています。 <li data-bbox="667 1529 1420 1742">•乳児は室内ジムやスポンジクッション、平均台を利用して遊び、ハイハイでトンネルくぐり、フープでジャンプをするなど発達に応じて遊びの中で運動能力が身に着くようにしています。幼児は朝の会で腹筋や背筋のストレッチ運動を取り入れたり、週 1 回体操教室で跳び箱・マット運動・平均台・ボール、縄跳びなどを行い、運動能力が高められるように配慮しています。分園の園庭は基本的には乳児が使用していますが、幼児が使用する場合は職員間で話し合い、連携して使用しています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 264 466 295">Ⅱ-2 保育内容[生活]</p> <div data-bbox="247 358 606 459" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 264 1423 414">・食事の前に子どもが「少な目、もっと少なくして」「大盛り、もっともっと」などと注文し、職員が一人一人量を調節して盛り付けています。苦手な献立の時は「一口だけ頑張ってみようか」など声掛けし、食べられると「すごいね」「かっこいいね」とほめ、負担にならずに楽しく食べられるようにしています。 <li data-bbox="667 448 1423 571">・季節ごとに旬の食材を使用し、七夕、クリスマス、ひな祭りなどの行事食は星や花を型抜きにした特別メニューを提供し、子どもたちに喜ばれています。献立は和・洋・中をバランスよく作成し、彩りや盛り付けにも配慮しています。 <li data-bbox="667 604 1423 750">・6か月未満児や離乳食の子どもにはシリコンのスプーンを使用し、年齢や発達に応じて、フォークや箸を使用しています。お碗やお皿はその時の献立や月齢にふさわしいものを使っています。食器は持って食べることを指導しており、ごはん茶碗や、お碗、サラダのお皿など、子どもが持ちやすい形のものを使用しています。 <li data-bbox="667 784 1423 907">・給食日誌に喫食状況、残食の量について記録し、園長、主任、栄養士、乳児・幼児リーダーで構成される月1回の給食会議で、新しいメニューの反応や、残食はなかったがおかわりは人気なかったなどを話し合い、次の献立や調理の工夫に反映させています。 <li data-bbox="667 940 1423 1064">・毎月の給食だよりに「夏野菜で熱をとりましょう」「夏の暑い時に旬のトマトやキュウリを食べるわけ」などを掲載して保護者に情報提供を行っています。また、旬の食材を使ったメニューや簡単親子クッキングなどのレシピを掲載し、親子でも簡単に作れるメニューを紹介しています。 <li data-bbox="667 1097 1423 1187">・眠れない子どもは職員が抱っこしたり、側に付き添ったり、絵本を見せたりして静かに過ごすようにしています。年長児は布団で体を休めるなど柔軟に対応しています。 <li data-bbox="667 1220 1423 1310">・0、1歳児はおむつのぬれ具合から、一人一人の排泄回数や状況を把握し、チェック表に記入しています。チェック表をもとにリズムをとらえ、個々に応じて対応をしています。 <li data-bbox="667 1344 1423 1433">・活動の節目にトイレに誘ったり、おむつが濡れていない時にトイレに座ってみるなど、個々のリズムや発達状況に合わせてトイレトレーニングを進めています。 <li data-bbox="667 1467 1423 1556">・幼児の午睡時のおねしょの時はほかの子どもに気づかれないように着替えたり、布団の処理をしています。乳児会議ではおもらした子どもへの対応について議題として取り上げ話し合っています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・入園時に配付するしおりに保育園での健康管理について記載し、毎朝受け入れ時に子どもの朝食や睡眠、便の状況や機嫌などを看護師が確認し、把握し、検温を行って「受け入れ表」に記入しています。確認のポイントとして前日の家庭での子どもの様子、登園時の様子を把握したうえで保育に活かすようにしています。また、看護師が年間の「健康管理保健計画」を作成し、感染症などの予防や研修受講予定、保護者と連携して対応する計画を記載し、職員に周知し実行しています。
- ・年2回の健康診断と年1回の歯科健診を実施し、一人一人の児童健康台帳に記録しクラスごとにファイルしています。健診結果で対応が必要になった場合は職員に周知し、保育に反映させています。
- ・健康診断結果はその日のうちに「結果のお知らせ」として配付し、歯科健診は「歯科健康診査票」で保護者に伝えていきます。また、予め、保護者から受けた質問に対しての嘱託医からの意見を連絡帳に記載したり、口頭で保護者に伝え、園としてどう対応するか連携を密にしています。
- ・感染症についての対応マニュアルがあり、感染症が発生した場合の手順や潜伏期間、症状、登園基準について明記されています。保護者には「いずみ反町保育園のしおり」に対応や登園のめやすを記載し、入園時保護者に配付し、説明しています。
- ・感染症が発生した時は「保育園における感染症情報」として病名、発生日時、症状などを記載し、本園、分園とも玄関に掲示し保護者に情報提供しています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理に関するマニュアルは、感染症についてのマニュアルと消毒、清掃に関する美化マニュアルがあります。 採用時はマニュアルについて園長が説明し、周知しています。看護師は、健康管理保健計画に基づき、職員会議でマニュアルに沿った研修を定期的に行っています。 保育室やトイレ、園庭の清掃や消毒場所と消毒法などが記載された「美化マニュアル」をもとに、トイレなどのチェック表が作成され、毎日記録し園内外の清潔・適切な状態が保たれています。 必要に応じたマニュアルの見直しを毎年行い、今年度は年度始めに園長と看護師による見直しが行われています。定期的な見直しを位置づけるとよいでしょう。
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 地震、火災、台風、ケガなどに対応する防災管理マニュアルがあります。マニュアルは地震、火災、台風、ケガなどの対応について全職員が同じ思いで同じ対応をするよう記載され、全職員に周知されています。また、本園、分園の玄関に子どもが行方不明になった時の対応や、ケガの発生時対応を掲示し、いつでも確認できるようにしています。 年間の避難訓練計画表を作成し、本園、分園とも毎月、地震や火災による避難訓練や通報訓練を実施しています。また、地域防災拠点となる市立中学校への誘導訓練も実施しています。 子どもが保育中にケガをした場合は、必ず保護者に連絡し、担当がケガの状況や経緯を伝えています。担当が残れない場合はクラスの申し送り表に記録して、対応する職員が保護者に伝えています。また、受診が必要な場合は保護者に連絡し、確認を得た上で受診しています。事故やケガについての報告書、ヒヤリハット記録簿があり、ケガの状況、受診の有無などを記録しています。 本園の玄関ドアは登園時職員が玄関前で確認しており、登園が終了した時点で施錠しています。また、警備保障会社と契約し保育室に防犯カメラが取り付けられ、緊急時には直接警備会社に通報できるようになっています。分園は門扉、玄関ドアは電子錠で施錠、インターホンで保護者の顔を確認後解錠し、不審者等の侵入防止策が講じられています。 本園、分園とも事務室に警察、消防署などの緊急時連絡先や医療機関、職員連絡網などを掲示し、保護者へは児童票で確認し、連絡する体制を整えています。また、保護者への連絡として平成23年度7月よりメール配信を導入し、緊急時に備えて毎月配信状況を確認しています。

II-3 人権の尊重



- 保育業務マニュアルに「人権に配慮した保育」や「子どもの人権を守るために」「差別用語は使わない」について、具体例が記載され、子どもを呼び捨てにしないことや、人間性を否定してしまうような叱り方をしないなど全職員が認識し、子どもに接しています。また、園長が連絡帳に目を通して、職員の記載について、表現に問題がないかどうかチェックしています。
- 園長は、連絡帳の記載について気になる表現があった場合は、午睡時にクラスを廻り、職員に助言しています。また、職員は「人権に配慮した保育」について、乳児・幼児会議で話し合い、子どもの人格尊重を意識して保育にあたっています。
- 本園の幼児保育室は、子どもが落ち着いて過ごすためなど、必要に応じて可動式のパーテーションで仕切り、使用しています。事務医務室や柱の陰、絵本コーナーは他から視線を遮る場所となっています。
- 必要に応じてパーテーションで保育室を仕切り、プライバシーを守れる場所としていますが、5、6歳になると職員の目が届きながら一人で過ごせる場所が必要です。ドアのあるトイレや一人で過ごしたい時の居場所など工夫があるとよいでしょう。
- 保育業務マニュアルに、「プライバシーの尊重と保護」があり、守秘義務について記載しています。職員は入職時に園長から説明を受け、誓約書にサインしています。また、実習生にはオリエンテーションで資料を基に守秘義務について説明していますが、ボランティアについても守秘義務を明記したオリエンテーション資料を整備するとよいでしょう。
- 業務マニュアルなどで、職員に無意識に性差による固定観念で保育をしないよう園長が説明していますが、職員同士で意識し反省するような仕組みは出来ていません。今後、職員同士で意識し検証し合う仕組み作りが期待されます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 264 517 297">Ⅱ-4 保護者との交流・連携</p> <div data-bbox="248 338 608 443" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="683 264 1417 450">・年度始めの保護者会や、年1回の懇談会で保育理念、保育の基本方針、保育目標について園長が説明し理解してもらうようになっています。また、毎月配布する園だよりに保育方針に基づいた年齢ごとの指導計画を掲載しています。連絡帳ではトイレトレーニングの進め方など、保護者からの意見を尊重したうえで園としての方針が理解されるように努力しています。 <li data-bbox="683 483 1417 669">・家庭での食事の様子や体調などについて連絡帳で園に伝え、園では家庭からの連絡事項に配慮して、「園の給食は全部食べていました」など情報交換をしています。また、年1回、1週間の期間を設けて個人面談を行っています。個人面談では家庭での様子や園での様子について情報交換し、保護者が不安なことや要望を聞いて「個人面談票」に記録しています。また保護者の要望があれば随時面談を実施しています。 <li data-bbox="683 703 1417 763">・園長、主任はカウンセリングの研修を受けており、保護者から相談を受けた職員が適切に対応できるように助言や指導を行っています。 <li data-bbox="683 797 1417 920">・園での日常の様子や体操、お誕生会の様子は写真に撮り、月1、2回掲示しています。また、年2回子どもの様子の写真をまとめ、冊子を作成して保護者が購入できるようにしています。写真を掲載することについては保護者懇談会で了解を得ています。 <li data-bbox="683 954 1417 1106">・保育参加は年2回、2日間の日程をとり希望者が参加しています。1日4名まで受け入れ、園外保育に出掛け子どもと一緒に遊んだり、絵本を読んでもらったりしています。参加希望の保護者が多い場合は、参加日を増やし対応しています。保護者に声をかけ、参加する機会を設け、進んで情報提供しています。 <li data-bbox="683 1140 1417 1292">・保育理念、保育の基本方針、保育目標を記載した「保育へのおもい」を配付し、家庭での保育方針について保護者に園独自のアンケートを実施し、保護者の子育ての思いや教育方針について聞いていますが、園の保育の基本方針が理解されているかどうかの把握にまでは至っていません。今後保育方針に対する理解について把握することが期待されます。 <li data-bbox="683 1326 1417 1413">・現在保護者からの要望がなく保護者組織はありません。保護者同士がつながりを持ち、園が保護者組織との交流を通して、保護者との信頼関係を保つ取り組みについて検討することが望まれます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県子育て支援事業「すくすくかめっこ」の「こがめ隊」の活動の場として園開放を毎月2回、土曜日の午前中に実施しています。その中で園に対する要望・ニーズを把握しています。 ・年間約70組の親子が「こがめ隊活動」に参加しており、その活動を通じて離乳食や幼児食など食事の悩みの相談に応じ、地域ニーズを把握しています。 ・園長会や神奈川県保育園子育て支援連絡会に園長や主任が参加し、子育て相談や、遊びの提供についての検討会・研究会など、他園と協力しながら推進を図っています。園の所在する沢渡・三ツ沢地域の地域ケアプラザで行われる子育て事業にも関わり、子育て相談にのっています。 ・神奈川県保育園子育て支援連絡会に出席した担当職員が子育てニーズや会議内容、事例等について職員会議等で報告し、情報を共有しています。 ・月2回区内事業の「すくすくこがめ隊」活動に保育室など施設を開放し、園児と交流しています。 ・地域の子育て中の方及び保育園の保護者を対象に、「食育講座」を開催し、幼児期の食事や離乳食について講習や試食会を行っています。
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の掲示板2か所、近くにある系列園2か所、園の外掲示板の計5か所に、園で行う各種行事の案内や子育て情報を掲示しています。子育て支援の「こがめ隊」活動の中では随時育児相談に応じています。 ・町内会の掲示版で、園の催し物や「こがめ隊」の園開放の実施予定日等のパンフレットを掲示し、地域の子育て中の住民への情報提供を行っています。 ・事務所内には、相談内容に応じて関係機関等と連絡が取れるように区こども家庭支援課、医療機関、近隣保育園、警察等のリストを掲示しています。 ・関係機関への連絡担当者は園長としています。こども家庭支援課や学校、医療機関、警察、消防署等とは日常的な連携がとられています。 ・園での子育て活動の中での相談や電話での問い合わせ等がありますが、定期的な相談日を設けての育児相談は実施していません。今後は定期的に日程を決めての育児相談の実施が望まれます。

評価領域IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や近隣住民を運動会やもちつき、夕涼み会等の園の行事に招待しています。またポスターを作成し、町内会の掲示板や園の外掲示板を利用し、参加を呼び掛けています。 ・大原専門学校のイベントに参加したり、中学校の職業体験を受け入れたり、小・中学校とは運動会、文化祭、卒・入学式への参加など、地域の学校との積極的な連携や交流があります。 ・子育て支援事業の「こがめ隊」に園内の保育室を提供し、遊具等の貸し出しを行っています。 ・散歩活動では、軒先に咲くお花を見たり、犬や猫と戯れたりする中で地域の人たちとあいさつを交わしています。園周辺のゴミ拾いや落ち葉集めなどの清掃活動を行い、近隣との友好関係を図っています。また、近隣の大型種店で野菜の苗を買い、金魚や熱帯魚を見るなど楽しみながら店員と言葉を交わし、地域の商店の人たちとも交流しています。 ・防災の日には防災センターで火災・地震のアニメ映画を観、煙体験したり、電車に乗って氷川丸見学に行くなど、地域の施設を利用し文化に触れています。 ・町内の盆踊り大会や、地域ケアプラザで催される地域活動ホームのイベントなどのポスターを掲示し、子ども達は保護者と共に、また土曜保育の際に参加して模擬店や機織りを楽しんでいます。 ・町内の盆踊り大会等には参加していますが、定期的に活動を共にすることは行われていません。地域の清掃活動への参加など、身近なところから地域と一緒に定期的に活動することにより、さらに交流が図られるでしょう。
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットやホームページで園の情報を提供しています。また区の子ども家庭支援課窓口や、子育て支援活動のイベント会場にパンフレットを置き、情報を提供しています。 ・ホームページには園の概要、平面図、年間行事、一日のスケジュール、園だより、給食だより、地図など、子どもも楽しめる内容を明るい画像で掲載し、毎月更新しています。園の概要としては、保育目標、職員体制、延長保育料金、年間行事案内等を知らせています。 ・外部の情報提供機関から園の情報提供について、積極的に依頼を受けたことはありませんが、横浜市の「はびねすぽっと」や各種の機関で紹介されています。 ・利用の問い合わせに対しては、園の特徴や保育内容、料金、時間等の記載されているパンフレットを用意し、常時対応できるようにしています。 ・園の見学は水・金曜日とし、保育に支障のないことと、保育の内容が見られることから午前10時や午後3時半を勧めています。利用者の希望に合わせて、曜日や時間の調整することも可能となっています。 ・利用希望者に見学できることを電話で伝えていますが、パンフレットには記載されていません。今後はパンフレットやホームページにも園内を案内できることを記載すると良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="172 264 606 295">IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> <div data-bbox="268 340 512 443" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 264 1425 389">・実習生の受け入れのためのマニュアルが整備されており、それに基づき職員や実習生へ基本的な考え方を説明しています。実施に先立ち、オリエンテーションを行い守秘義務について誓約してもらっています。子どもに対してその日もしくは前日に実習生が来ることを口頭で伝えています。 <li data-bbox="667 421 1425 577">・実習生の担当窓口は主任で、担当者はリーダー保育士です。受け入れ時の書類はファイル化し、整理しています。実習の内容については見学実習、部分実習、責任実習という3つの形態があり、実習生の形態に合わせて、本人の希望と各クラスとの調整を行い、プログラムを定め各実習生にふさわしいプランを立てて、実施しています。 <li data-bbox="667 609 1425 734">・毎日振り返りを行い、意見交換の場を設け質問やアドバイスをを行っています。終了後には、学校を通じて本人からの礼状と感想が送られて来ています。同学年でも月齢により成長が異なるということを知ったことや、子どもたちにどこまで手を貸していいかわからず悩んだ等が記述されています。 <li data-bbox="667 766 1425 891">・ボランティア受け入れの担当者を主任とし、ボランティアの意義、受け入れ手順、配慮の書かれた「ボランティアの受け入れマニュアル」を用意し、全職員への周知が図られていますが、現在までボランティアの受け入れ実績はありません。 <li data-bbox="667 922 1425 981">・今後はボランティアの参加を積極的に募り、ボランティアの感想や意見を園運営に反映させることが望まれます。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト職員の指導は乳児、幼児リーダーが担当し、子どもへの対応など、必要なことは「受け入れ表」をもとに必ずリーダーが責任を持って引継ぎ、情報を共有しています。また、乳児・幼児会議に参加できない場合でも、職員間のコミュニケーションを図り資質向上に努めています。 ・職員は経験のある有資格者を法人が採用し、アルバイト職員は園が採用し、経験のある有資格者又は子育て経験のある人、乳児担当を希望する場合は乳児の保育経験がある人などを基本にし、必要な人材補充を行っています。 ・今年度第三者評価受審に際して職員が自己評価を実施し、結果や問題点について「ミーティング」で話し合っています。また、乳・幼児会議を行い、外部研修受講の報告会を行っていますが、定期的な園内研修として位置づけられていません。今後、常勤非常勤職員が受講できる園内研修を計画し、実施することが期待されます。 ・経験、能力や習熟度に応じた職員の人材育成計画は作成されていません。今後は、個々の職員・主任に期待される役割、人材育成の方法、昇任、昇給のしくみなどをそれぞれ明文化し、園の理念や方針に沿った人材育成制度の構築が望まれます。 ・園長が年2回職員と面談し、職員の意向や来年度に向けての希望を聞き、研修受講についての助言を行い、個々の職員の資質向上を図っていますが、人事考課チェックシートを活用した目標の設定や達成度の評価についてはこれから実施する予定です。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 271 481 297">V-2 職員の技術の向上</p> <div data-bbox="252 360 491 465" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="670 271 1414 387">・保育課程をもとに立案された月間指導計画や週のねらいのもとに、自己の実践について振り返りを行っています。また、今年度は個々の保育士について人事評価管理表のチェックシートをもとに個々の技術、業務についての振り返りを実施しています。 <li data-bbox="670 423 1414 607">・乳児・幼児会議や職員会議で振り返りの結果が話し合われ、園としての課題を抽出して改善に向け取り組んでおり、マニュアルの見直しや今年度開園した分園と本園の連携が図られるようフリールールの活用について検討されていますが、人事評価管理表のチェックシートや職員の業務についての振り返りアンケートなどについて、職員同士で報告し合う機会を設けるとさらに良いでしょう。 <li data-bbox="670 642 1414 759">・保育士が自己の実践を振り返る計画や記録の書式として月間指導計画や保育日誌に反省・自己評価を記入する欄があり定型化されています。年間の反省は職員アンケートに記載し振り返りを行っていますが、年間指導計画についても実践の振り返りが記載できる欄を設けるとよいでしょう。 <li data-bbox="670 795 1414 911">・職員ごとにチェックを行う「人事評価管理表」で個々の技術、業務について振り返りを行い、保育所の改善点について話し合っていますが、平成24年1月に第1回目を行い、今後計画的に保育所としての自己評価を実施し、園の自己評価として公表していく予定です。
<p data-bbox="178 949 564 976">V-3 職員のモチベーション維持</p> <div data-bbox="252 1039 491 1144" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="670 949 1414 1066">・クラス運営、業務についての判断は各担任に任されており、園全体の業務を担当制とし、研修、子育て支援、ボランティア・実習生の受け入れなどを分担しそれぞれ責任を持って業務にあたっています。また、最終責任は園長にあることを職員は認識しています。 <li data-bbox="670 1102 1414 1218">・年2回職員からアンケートをとり、職員の要望・改善提案を聞いています。今年度、職員の要望に応じて、職員同士で情報の共有できるスペースの確保、職員の休憩、更衣室となる場所の確保としてマンションの一室にフリールームを設置し改善に向けて努力しています。 <li data-bbox="670 1254 1414 1317">・職員からのアンケートや園長による面談で職員の要望や満足度について把握しています。 <li data-bbox="670 1352 1414 1469">・職員は年間行事やクラス運営の役割など分担しながら業務を行っていますが、経験、能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されるまでには至っていません。今後は、職員一人一人に経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として示されることが望まれます。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則・服務規律の中に服務心得として不正不適切な行為を行わないよう、責務を自覚し、業務を誠実に遂行していくことを明文化しています。入職時には、服務心得を伝えると共に年度初めの自己研修で就業規則・服務規律を読むことを指示し、チェック表にチェックを入れることを約束しています。 ・横浜市からのファックスや近隣園からの情報に基づき他施設での不適切な対応の事案を職員に伝え、そうした行為を起こさないよう啓発しています。 ・ごみ減量化・リサイクル化については、園内の各クラスで、プラスチック系ごみと一般ごみを区別しています。職員が牛乳パックを再利用して物入れやイスを作ったり、子どもの制作に取り入れたり、裏紙を使ってメモ帳にしたりと、全職員でゴミの削減や再利用のエコ活動を実施しています。 ・園内の採光は十分であり、日中の節電を心がけています。また、夕方のお迎えでは子どもが帰り、少ない人数になってきたら玄関に近い部屋を活用し、他の部屋は電気を消して間仕切り扉を閉めています。冷暖房については、外気の温度に合わせ、冬は22℃、夏は日差しに合わせてシーリングファン(扇風機/天井扇)を使用しています。 ・今回の東日本大震災に伴い節電に対する認識を深め、子どもたちにもエコ活動に対する意識を高めるよう取り組んでいますが、環境への考え方、取り組みなどを明文化することが望まれます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には入職時に園長・理事長から理念・方針についての説明を行い、指導計画作成時には、必ず理念を念頭に置き作成するよう指示しています。人事考課シートを用いて職員が理念・基本方針を自己評価で確認することを行っており、園長は職員の理解度を把握しています。 ・本年度分園開設にあたり、年3回の保護者会の中で意見交換を行い、保護者の意向を確認しながら分園開設問題を進めてきました。当初の予定では現在の3倍近くの乳児を保育できる規模の3階建て園舎を建設する予定でしたが、近隣住民からの反対があり、一旦は中止する方向に決まりました。再度の保護者や行政の要望・意向により、住民との折衝を続けた結果、小規模になりましたが開園することができました。現在は近隣とも友好関係が築かれ周辺道路の車の乗り入れや駐車など保護者とも協力体制が取れています。 ・分園開設については職員にも逐次経過報告をし、決定した後は設備、備品の調達や、経験を生かした遊具の選定等、全職員が関わり検討しました。 ・横浜市こども青少年局主催の「主任保育士研修」や「保育リーダー研修」に主任保育士やリーダー保育士の3名が参加し、スーパービジョン等を学び現場に活かせるよう取り組んでいます。 ・主任は担任クラスを持たず、指導計画の立て方の指導や業務報告の確認、職員のシフト編成など職員の動きを把握できる立場にあり、各クラスや職員のサポートをしています。 ・主任は必要に応じて各クラスに入り、保育士の能力や経験に合わせて、助言や指導をしています。指導した結果については、その後の実際の場面や動きを観察し、改善できているかを確認しています。

VI-3 効率的な運営



- ・市・区の園長会、法人の運営会議に参加し、最近の福祉・保育業界の動きや情報を収集し分析しています。収集した情報「子ども・子育て新システム」の導入などへの動き、子育てニーズなどの地域情報などを職員に伝えています。
- ・「子ども・子育て新システム」については、子どもへの影響、運営面での課題等について職員間で協議を重ね情報の共有化を図っています。新園立ち上げを含めて同区内にある市の所有地での施設運営への応募について検討しており、職員会議でも逐次報告し重点課題としています。
- ・市の所有地での施設運営への応募については、決定すれば職員の異動や、さらに能力向上を図ることなど、各種の影響が出るものと予想されます。職員への周知を図り、園全体が外部環境の変化についていける体制づくりをしています。
- ・時代の要請により保育環境が大きく変化している中で、本年度分園を開園し、更に新たな挑戦に乗り出している法人の動きを背景にして、早急な人材育成等運営に関わる課題を検討しています。
- ・主任やリーダーは市・区の主任研修やリーダー研修に参加し、次期幹部候補生としてスキルアップを図ると共に、中堅職員の育成として外部研修や内部研修を充実させる取り組みを行い、後継者の育成に力を入れています。
- ・税理士や医師など外部の機関や専門家の意見を取り入れ、園の運営が適正に運営されるよう努力しています。

利用者家族アンケート

結果の特徴

保護者アンケート実施 平成23年11月7日～11月22日

配布数65通 回収数37通 回収率56.9%

<特徴>

園の基本理念や方針について

「保育園の基本理念や基本方針を認知」は「よく知っている」「まあ知っている」の合計が94.6%となっており、また、回答者のうち「賛同できる」「まあ賛同できる」の合計は97.2%で、理念や方針への周知・理解には高い結果が出ています。

職員の対応について

「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均が92.1%で「あなたのお子さんが大切にされているかについては」及び「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては」「満足」「どちらかといえば満足」の合計が94.6%の高い満足度となっています。

日常保育:生活について

「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は91.9%で「お子さんが給食を楽しんでいるかについては」「満足」「どちらかといえば満足」の合計が100%、「給食の献立内容については」は97.3%、「基本的生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みにつついて」は94.6%と高い満足度を得ています。

日常保育:遊びについて

「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均が87.4%となっており、中でも「クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)」は「満足」「どちらかといえば満足」の合計が94.6%、「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては」は91.8%と高い満足度となっています。

保育園の快適さや安全対策について

「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は80.4%ですが、「施設設備については」は「どちらかといえば不満」「不満」の合計が21.6%、「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては」同じく18.9%となっており「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については」は共に「どちらかといえば不満」「不満」の合計が13.5%、となっており、アンケート全体の中では快適さや安全対策についての満足度は低い結果になっています。

園と保護者との連携・交流について

「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は85.3%で、「園の行事の開催日や時間帯への配慮については」「満足」「どちらかといえば満足」は合わせて共に91.9%となっています。一方で「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については」は「どちらかといえば不満」「不満」合わせて24.3%となっています。

自由意見欄からは「先生方はとても話しやすく、子育てが初めての母親にとっては、不安や心配が減るように、優しい言葉を掛けて頂いたり、子どもの良い所や悪い所を教えていただき安心します」という感謝の言葉や、「台風等による遅延など、親の責でない不可抗力での迎えの遅れは費用負担の免除になる制度があつてよいのではないか」というコメントを寄せています。

保育園総合満足度の「満足」「どちらかといえば満足」の合計が91.9%でした。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	13.5%	81.1%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への共感	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	74.3%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 見学の受け入れについては	56.8%	16.2%	8.1%	2.7%	10.8%	5.4%
	その他:					
b 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	59.5%	27.0%	8.1%	2.7%	0.0%	2.7%
	その他:					
c 園の目標や方針についての説明には	51.4%	35.1%	2.7%	8.1%	0.0%	2.7%
	その他:					
d 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	45.9%	37.8%	8.1%	2.7%	0.0%	5.4%
	その他:					
e 保育園での1日の過ごし方についての説明には	54.1%	32.4%	5.4%	5.4%	0.0%	2.7%
	その他:					
f 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	40.5%	32.4%	18.9%	5.4%	0.0%	2.7%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 年間の保育や行事についての説明には	59.5%	35.1%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%
	その他:					
b 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	27.0%	56.8%	8.1%	0.0%	5.4%	2.7%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	59.5%	35.1%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
b 子どもが戸外遊びを十分しているかについては	54.1%	29.7%	10.8%	2.7%	2.7%	0.0%
	その他:					
c 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	51.4%	32.4%	10.8%	0.0%	5.4%	0.0%
	その他:					
d 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	59.5%	27.0%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
e 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	56.8%	27.0%	13.5%	0.0%	2.7%	0.0%
	その他:					
f 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43.2%	48.6%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

生活について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
g	給食の献立内容については	75.7%	21.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:						
h	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	81.1%	18.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:						
i	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	78.4%	16.2%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%
	その他:						
j	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	73.0%	16.2%	8.1%	2.7%	0.0%	0.0%
	その他:						
k	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	73.0%	16.2%	5.4%	0.0%	2.7%	2.7%
	その他:						
l	お子さんの体調への気配りについては	73.0%	18.9%	2.7%	5.4%	0.0%	0.0%
	その他:						
m	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	62.2%	18.9%	8.1%	5.4%	2.7%	2.7%
	その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a	施設設備については	40.5%	37.8%	10.8%	10.8%	0.0%	0.0%
	その他:						
b	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	51.4%	29.7%	10.8%	8.1%	0.0%	0.0%
	その他:						
c	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	48.6%	32.4%	10.8%	2.7%	5.4%	0.0%
	その他:						
d	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	51.4%	29.7%	10.8%	2.7%	2.7%	2.7%
	その他:						

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	45.9%	37.8%	8.1%	5.4%	0.0%	2.7%
	その他:					
b 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	54.1%	29.7%	8.1%	8.1%	0.0%	0.0%
	その他:					
c 園の行事の開催日や時間帯への配慮については	51.4%	40.5%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%
	その他:					
d 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	43.2%	32.4%	13.5%	10.8%	0.0%	0.0%
	その他:					
e お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	54.1%	35.1%	8.1%	2.7%	0.0%	0.0%
	その他:					
f 保護者からの相談事への対応には	48.6%	35.1%	8.1%	8.1%	0.0%	0.0%
	その他:					
g 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	70.3%	18.9%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a あなたのお子さんが大切にされているかについては	73.0%	21.6%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%
	その他:					
b あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでるかについては	73.0%	21.6%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
c アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	62.1%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%
	その他:					
d 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	67.6%	21.6%	8.1%	2.7%	0.0%	0.0%
	その他:					
e 意見や要望への対応については	54.1%	35.1%	5.4%	5.4%	0.0%	0.0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 総合満足度は	64.9%	27.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%

利用者本人調査

結果の特徴

【調査方法】

実施日：平成24年2月6日・8日

保育観察：調査員2名が乳児と幼児に分かれてクラスごとに「遊び」「食事」「排泄」など保育観察を行いました。

本人聞き取り調査：予め保育園に依頼をした4歳児クラス3名、5歳児クラス3名に行いました。

【利用者本人調査の結果】

【全体のコメント】

<0、1歳児の遊び>

0、1歳児クラスは保育室を仕切って遊びを分け、月齢の低い子どもたちはハイハイしてトンネルで遊んでいます。トンネルに入らない子どもに職員が「1、2、1、2、お散歩しよう」と言葉がけすると、にこにこしながらトンネルに近づき、周りで遊んでいます。しばらくトンネル付近で遊んで慣れてくると、トンネルに入って行き反対側で待っている職員のところまでたどり着きます。トンネルに入ったり出たり笑顔で遊んでいます。

柵で仕切った隣のコーナーでは子どもジムに乗ったり、滑り台を滑ったりして遊んでいます。職員は子どもの自主性に任せ、危ない時は手で支えて落ちないようにしたり、滑り台がうまく滑れるように援助したりしています。ジムの周りではプラスチックカーに子どもが乗って遊んでいます。「車空いていますよ」「順番ですよ」「押さないでって言おうね」と職員が声をかけ、ぶつかりそうになったり、交替できなくてトラブルになった時は子どもに説明し、援助しています。

<0、1歳児の食事>

子どもたちはテーブルに向かい、配膳された食事をスプーンやフォークを使って食べています。「人参さんときゅうりさん、手で食べてもいいよ」「あぐあぐじょうずだね」「おいしいよ」と職員が声掛けし、子どもはこぼしながらも自分で食べています。職員は出来ないところを援助し「集まれ、集まれしようか」とミートソースを寄せてあげて、子どもが全部食べ終わると「わーピカリだね」とほめ、子どもは笑顔になっています。

完了食を食べている子どもは栄養士から三角の食パンをもらって笑顔になっています。「食パンが食べたかったのね」「おいしいのもらえてよかったね」と声をかけられ笑顔で食べています。また、眠そうにしている子どもには、「眠かったね」「お茶飲んでねんねする」「デザートあるよ」と職員が声をかけています。子どもの表情をみて「いらないの、じゃお着替えしようか」と言って午睡の準備に入りました。

<2歳児の食事>

給食の準備になりました。エプロンスモックを一生懸命着ています。すっと着てしまう子、四苦八苦してもなかなか着れない子、でもあきらめません。保育士が手を貸して、やっと首が入りました。自分でボタンを一つずつはめています。準備ができみんなテーブルに着きました。保育士がスープをつけています。2歳児のパンは口の大きさに合うよう3～4切れに切ってあります。「サラダありますか、順番こに食べてください、まずお野菜」みんなスプーンを持って上手に食べています。こぼす子はいません。「パンは手で食べるんだよ」「見て～、バナナパン」切られたパンの形をバナナに見立てて友達と楽しそうに話しています。「ちゃんとお茶碗持ってね。」「前向いて食べてください」と保育士が子どもの椅子をテーブルに近づけて、食事マナーを教えています。「キーウイを食べるとビタミンが入っているから風邪ひかないんだって」「○○ちゃんサラダピカピカ、あんぱんまんみたいになれるかな～」「もうちょっときれいに食べてね。集まれしてね」保育士は子どもたちの食事が進むように絶えず気配りをしています。

<3歳児の折り紙>

折り紙です。オレンジ・ピンク・緑の折り紙を使い「犬」を折ることになりました。

「まずは三角にする。もう一つ小さい三角、出来たら開きます。まっすぐのほうの真ん中の線まで」と保育士が自分で折って見せながら説明しています。「こう？」「こうタッチ」と言い合いながら子どもたちは折っています。キッチンと角に合わせて、全員が上手に折っています。「さっき折ったところをいっぱいアイロンかけといて」と保育士が紙をきちんと押しつけることを伝えています。「小さい三角の中に指を入れて、入ったら上から押して」「犬にお鼻ある？」と犬の形におった折り紙に鼻の部分が折れているかを確認しながら、保育士は一人ひとりの折れ具合を確認しています。「ある、ここ、ここだよ」と子どもが首を寄せ合って、お互いの出来具合を見ています。サインペンを回し、「お目め書いた？」「かわいい、かわいいね」。全員折ることが出来ました。みんな満足げです。

<4、5歳児の集団遊び>

子どもたちは椅子を丸く並べて座り、一斉に膝をとんとんしたり、頭に手をやったりしています。一人の子どもがその動きをみて、誰がリーダーで一斉の行動になっているのかを当てるゲームです。真剣なまなざしでいろいろな角度から観察し、職員から「この3人よく見て」「さくらさんの女の子だよ」などヒントを聞いて「〇〇さん」と答え、「正解」と全員が元気に答えます。子どもたちはとても楽しそうに何回か繰り返し、「今度は何でもフルーツバスケットをします」と職員から聞いて歓声を上げ、ルールのあるゲームに集中し楽しんでいました。

<4、5歳児の食事>

お当番さんはみんなの前に出て「先生みなさんいただきます」「どうぞ召し上がれ」と挨拶をしています。テーブルに向って4、5歳児が好きなお友達と一緒に座り、トレイに配膳された食事を食べ始めます。職員は主食、主菜、副菜、みそ汁の並べ方に配慮し、子どもの席を廻って「お皿を持って食べるといいよ」「今日は偉いね」「嫌いなものはなかったの」などと声掛けしています。ご飯は子どもの持ちやすい茶碗に、みそ汁はお椀に、サラダは陶器の小皿にとそれぞれに合った食器や盛り付けが工夫されています。子どもたちは「キウイは今日6コまでいいですよ」「パンのお替りは一人1個です。どうぞ」と職員に言われて、満足そうにお替りやフルーツをとりに行き、楽しそうに会話しながら食べていました。

[質問項目別の特徴]

<遊びについて>

保育園での遊びは全員が楽しいと答えています。好きな遊びはおままごと、おうちごっこ、ブロック遊び、鉄砲で遊ぶ、レゴブロック、プラレール、と答えています。

<食事について>

給食のおかわりは全員ができると答えています。今日はパンをおかわりした、1個半・スープをおかわりした・ポテトサラダやハンバーグ、お魚もおかわりしたと答え、おいしく給食を食べていることがうかがわれます。

<排泄について>

遊びの時はトイレに自由に行けるが、朝の会、帰りの会、給食、おやつの時、お昼寝の時はいけない・先生に言うから行く・お片づけの時は終わってから先生に言うと答えています。

<清潔・健康について>

ボディペインティングの時はきれいにしてくれる、シャワーできれいにしてくれる、と答えています。消毒してくれる・病気やけがについてはお母さんに電話してくれ、「冷えピタ」はってくれる・けがをした時は絆創膏を貼ってくれ、熱が出た時は事務室で寝る・優しくしてくれる、と答えています。

<権利について>

ごめんねと言ったら許して先生に言わなくていい・自分で相手になんでやったのかを聞く・先生は両方の話を聞いてくれる・相手が理由を言わなかったら先生が話を聞いてくれる、と答えています。

<職員について>

先生は大騒ぎしたり、悪いことをしてる時おこるけれど優しいと答えています。園長先生に肩もみしてあげる、他のクラスの先生とトランプやウノ、ワミー、ラキューで遊んだり、写し絵を上手にできるコツを教えてもらったりしている、と答えています。

<特別活動について>

体操は楽しい、ゲームや平均台をする・ピアノも楽しい・ドングリころころをやる、英語も楽しい、ABCを書く練習やぬり絵もする、スイミングも楽しいと答えています。子どもたちが特別活動を楽しんでいる様子がうかがえました。

事業者からの意見

この度は第三者評価にあたりご指導をいただきありがとうございました。
自己評価を進めていく中で、職員の意識や足りないところを改めて見直す良いきっかけとなりました。
この結果を職員会議で話し合い、子どもたちにとって、保護者にとって、また、職員にとっても良い保育園になるよう、改善できるところを工夫していきたいと思えます。

社会福祉法人 いずみ
いずみ反町保育園